2022
Winter

医療法人社団 鶴友会
鶴田病院
☎096-382-0500(代)
📠096-382-0592

医療法人社団 鶴友会 広報誌

ほほえみ

メディエイト 鶴翔苑
医療法人社団 鶴友会
☎096-387-8181(代)
📠096-387-7001



熊本県回復期医科歯科病診連携推進事業調印式
【写真左より】熊本県歯科医師会三森康弘理事、同伊藤明彦会長、鶴田病院鶴田豊院長、同中元雅史歯科口腔外科部長

医療法人社団 鶴友会の理念

最良の医療・福祉サービスを提供する。
笑顔に満ちた地域の施設を目指す。

CONTENTS

ごあいさつ
リハビリ紹介 ～がんリハビリ、手術前リハビリ～
iPad自動面会マニュアル公開
開放型登録医紹介
鶴田病院　外来担当医表

https://kakuyuukai.or.jp
鶴田病院　鶴翔苑　検索

鶴田病院 公式フェイスブックページ
www.facebook.com/kakuyuukai.tsuruta.hp

鶴田病院HP　鶴翔苑HP　鶴友会在宅総合支援センター HP

医療法人社団 鶴友会
〒862-0925 熊本市東区保田窪本町 10-112
鶴田病院
介護老人保健施設
メディエイト 鶴翔苑
鶴翔苑 通所リハビリテーション
鶴友会 訪問リハビリテーション
鶴友会 居宅介護支援センター
鶴友会 訪問看護ステーション
鶴友会 訪問介護ステーション
熊本市東２地域包括支援センター
ささえりあ保田窪

地域医療・介護サービスで役割を果たす

医療法人社団鶴友会
理事長　鶴田　克家



第5波の後、しばらくは熊本でも新型コロナウイルス感染の報告が無く、少し安心していましたが、オミクロン株が急速に感染拡大し、瞬く間に、1日の感染者数は第5波を超え、今の所天井知らずの勢いで感染者が増加しています。WHOもパンデミックの終息には程遠いと発表しました。熊本でも、まん延防止等重点措置が適応され自粛生活はまだ続きそうです。気が重くなりますが、一人一人が自覚を持って行動し、出来るだけ感染を広げないよう努めるしか他ありません。昨年は患者様、ご家族、連携する医療、介護施設の皆様、そして当法人の職員の協力もあり、クラスターを出すこと無く、法人運営を行うことができました。心より感謝申し上げます。

この様な状況下でも、我々は地域医療、介護の一旦を担う法人として、しっかり役割を果たす必要があります。今後、少子高齢化が加速するに従い、我々が担うポスト&サブアキュート医療、慢性期医療、介護、福祉の役割は益々重要になってまいります。また高齢者が増加するに従い、病院、介護施設だけでは無く、在宅医療、介護のニーズは高まります。当法人では在宅総合支援センターを立ち上げ、できるだけ自宅で過ごしたいと願う方々の支援を行ってまいります。今後もそれぞれの分野を充実させ、地域の皆様が笑顔になれる医療、介護を提供して参ります。

ニューノーマル時代でも医療安全と質の向上を

鶴田病院
院長　鶴田　豊



世界中がこの2年間新型コロナウイルス感染症に翻弄され、本年もオミクロン株による第6波の大流行を迎えております。

コロナ禍により人々の往来は極端に制限され、当院でも状況に応じて面会制限をさせていただいております。また人との繋がり方にも大きな変化を強いられ、孤独が招く種々の弊害も散見される世の中となっております。

そこで、入院患者さんや入所者さんとご家族ご友人間の交流用としてのみならず、超高齢化社会における新興感染症時代に即したコミュニケーションツールとして、ipad自動面会システムを導入しました。既存のオンライン面会とは一線を画すツールとして、当院WEBサイトにも公開しております。ぜひご参照・ご利用いただければと思います。詳細は当紙面の6ページをご覧ください。

また、病院の根幹となる医療安全と医療の質について、恒常的に取り組むことはもちろん、さらなる向上を図るために、本年5月には日本医療機能評価機構の機能評価(一般病院1　3rdG:Ver.2.0)更新を受審いたします。

本年も地域の皆様からより一層必要とされ信頼されるよう、職員一同努力して参る所存です。変わらぬご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「笑顔」をつなぐセンターに

在宅総合支援センター
センター長　岡村　茂樹



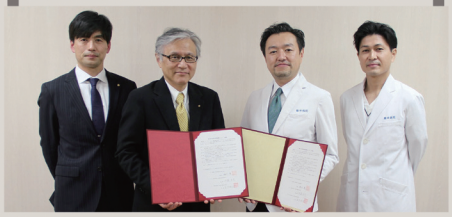
がむしゃらに仕事に向き合い、ふと立ち止まったとき、やはり自分を支えてくれているものは患者さん、御家族の笑顔であると感じます。支えているはずの患者さん、御家族から、自分の方が支えられている…。

在宅に関わるようになり、患者さんや御家族の在宅での生活をいかに支えるか、医師としてできること、人としてできることを絶えず模索しながら日々を過ごしています。

私達だからできることを誠心誠意行い、それが皆様の笑顔に変わるのであれば、どんな努力も、苦労も、喜びとなって私達に返ってきます。その喜びが、次の笑顔の為の、私達の笑顔になります。私達、在宅総合支援センターは、そんな笑顔を、常に、いつまでも届け続けたい、そう考えています。

このような時期だからこそ、笑顔をつなぐ1年にしていきます。

熊本県回復期医科歯科病診連携推進事業への参画について



当院と一般社団法人熊本県歯科医師会（伊藤明彦会長）および一般社団法人熊本市歯科医師会（宮本格尚会長）はこのほど、熊本県回復期医科歯科病診連携推進事業における調印式を執り行いました。

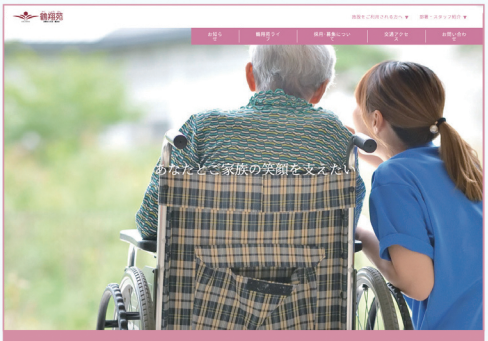
病診間の連携と機能分担を図り、医療の効率化および質の向上に努めることを目的とし、当院入院患者様が訪問歯科診療を望まれた際、両歯科医師会ならびに会員歯科医師の協力のもとで、熊本医科歯科病診連携システムを運用して参ります。

WEBをリニューアルしました！

鶴田病院、メディエイト鶴翔苑、在宅総合支援センターの、特色をご紹介していますのでぜひご覧ください。



鶴田病院 ホームページ
https://kakuyuukai.or.jp/tsuruta



メディエイト鶴翔苑 ホームページ
https://kakuyuukai.or.jp/kakusyoen



鶴友会在宅総合支援センター ホームページ
https://kakuyuukai.or.jp/support

おひとりおひとりの人生に寄り添う、がんのリハビリ

高い専門性と安全なリハビリを提供します

国内のがん罹患数は980.856例（2018年時点）、5年生存率は64.1%、生涯でがんに罹患する確立は男性で65%、女性で50%、2人に1人はがんを患うと言われていますが、医療の進歩と共にこれからは**「がんと共存する時代」**と言われています。
私たちはがん治療をされているすべての方々（がん治療を予定している方や手術を控えている方、がんの治療後や手術後の方、心身の苦痛を和らげたい方）が治療に専念し、生活をよりよいものに高めて頂けるよう、高い専門性と安全なリハビリを提供しています。



▲当院のがんのリハビリは、おかげさまで9年目となりました

手術前のリハビリ



手術前のリハビリの目的

1）術後入院期間の短縮
2）合併症のリスク軽減
3）早期の社会復帰
4）運動への理解
5）精神的不安の軽減

がんのリハビリはがんと診断された早期から行うことが可能です。身体機能の向上のみならず、手術前にリハビリすることで、術後のリハビリを安心して取り組むことができます。また、精神的な安心や治療に専念できるメリットもあります。

化学療法後・手術後のリハビリ



化学療法後や手術後のリハビリの目的

1）スムーズな術後の回復
2）運動量低下・活動量低下の予防
3）倦怠感の軽減
4）精神的苦痛の軽減

多くの患者様ががんそのものや副作用により痛みやだるさ、嘔吐などの症状を生じ、活動量が低下し全身の体力・筋力低下をきたします。
また、がんの治療中は体力低下や感染のリスクが高まるため、より専門的な知識と適切な安全管理が必要となります。スムーズな回復の促進と在宅復帰、社会復帰を目指しています。

経験豊富なセラピスト



当院では安全ながんリハビリを提供する為に必須となっている**「がんのリハビリテーション研修」**を修了した理学療法士8名、作業療法士1名、言語聴覚士2名で365日休まないリハビリを提供しています。
また、臨床経験も平均12年以上と経験豊富なセラピストが多く在籍しております。コンパクトな組織の強みを最大限活かし、おひとりおひとり患者様を深く理解し、安心できるような顔の見える関係作りを意識しています。スタッフ一丸となりチーム医療を提供しています。

手術前リハビリで体力・筋力・呼吸機能の向上を！
～日本癌治療学会ワークショップにて全国へアピール～



【写真左より】
熊本大学病院 消化器外科 特任教授　吉田直矢先生
鶴田病院　リハビリテーション部　大野耕太朗理学療法士

当院の大野耕太朗理学療法士が「施設間連携による高度肥満、フレイル癌患者に対するリハビリテーションの有用性」をテーマに、日本癌治療学会ワークショップで発表いたしました。

当院では、手術後の合併症予防・早期退院・早期社会復帰に繋げることを目的に、熊本大学病院と連携し、体力・筋力・呼吸機能を向上させるための手術前リハビリを行うことができます。

熊本大学病院と鶴田病院の施設間連携は、全国でも稀有な関係性であり、病院機能を生かした医療を提供できる貴重なモデルケースです。

大野理学療法士より



今回の経験を生かしながら、患者様1人ひとりに最良の医療を提供できるよう真摯にリハビリに取り組み、地域医療の発展の一助となれるように研鑽を重ね論文作成にも努めて参ります。

学会では癌患者様へのリハビリの重要性が議題に上がり、私の発表も多くの先生方に関心を持っていただきました。熊本大学病院消化器外科の吉田直矢特任教授をはじめ、多くの先生方のお力添えで発表を行うことができました。心より感謝いたします。





熊本大学病院と鶴田病院の施設間連携について

熊本大学病院と鶴田病院のスムーズな施設間連携のため、熊本大学病院の外科医師が毎週来院し、状況の確認と手術計画の調整を行っています。

施設間連携によるリハビリのメリット

- 手術前から介入することで、手術後の転院リハビリの受け入れがスムーズになり、早期社会復帰に貢献できる。
- がん診療拠点病院の外科医が手術に集中することができる。
- リハビリ専門施設でリハビリを行うことで、365日の切れ目のない集中的なリハビリが可能。

患者様の体験談から生まれた

いつでも、顔を見て話せる



iPad自動面会マニュアルを公開！

「いつでも、どこからでも、顔を見て話せる」。コロナ禍で医療機関や介護施設での面会制限が強化される中、患者様とご家族、友人知人との交流が簡易的にできる一助となればとの思いで、当法人では“iPadを利用したオンライン自動面会”をマニュアル化いたしました。
この自動面会は、手を自由に動かすことができない患者様とご家族が、“iPadを利用したオンライン自動面会”で家族との交流を取り戻し、幸せな最期を迎えることができたとご実感いただいた体験談を基に生まれたものです。

このノウハウを1人でも多くの方々にご利用いただけるよう、右記QRコードおよび鶴田病院WEBサイト「https://kakuyuukai.or.jp/tsuruta」上で、マニュアルを公開しておりますので、どうぞご自由にご活用下さい。

医療機関だけでなく、介護施設や在宅で過ごされている方、難病を患っている方、遠距離生活を送っている方々など、きっと誰かの助けになるものと信じています。

iPad自動面会
マニュアル
QRコード

「いつでも、顔を見て話せる」
～入院患者様のiPad・FaceTime利用マニュアル～



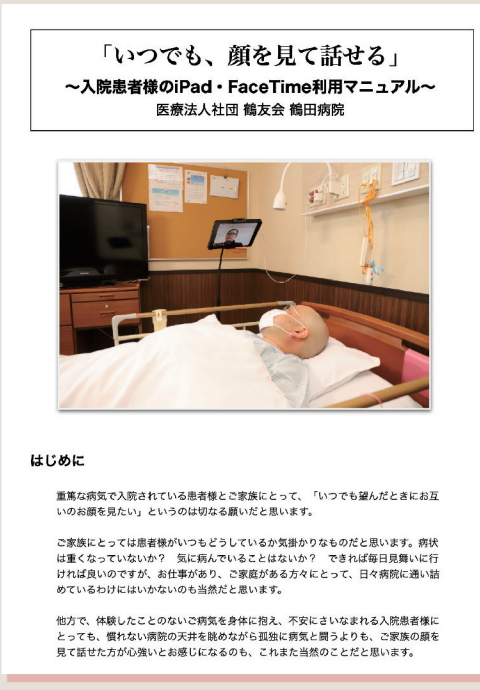
index



利用環境と準備
- ▶iPadの選び方
- ▶通信環境の構築
- ▶アカウントの確保
- ▶設置の方法

iPadのセッティング
- ▶連絡先の設定
- ▶自動アップデート
- ▶アクセシビリティの設定
- ▶通信時間と通信相手の制限
- ▶開通準備

FaceTimeのかけ方
- ▶FaceTimeをかける側
- ▶FaceTimeを受ける側



「いつでも、顔を見て話せる」
～入院患者様のiPad・FaceTime利用マニュアル～
医療法人社団 鶴友会 鶴田病院

はじめに

重篤な病気で入院されている患者様とご家族にとって、「いつでも望んだときにお互いのお顔を見たい」というのは切なる願いだと思います。

ご家族にとっては患者様がいつもどうしているか気掛かりなものだと思います。病状は重くなっていないか？　気に病んでいることはないか？　できれば毎日見舞いに行ければ良いのですが、お仕事があり、ご家庭がある方々にとって、日々病院に通い詰めているわけにはいかないのも当然だと思います。

他方で、体験したことのないご病気を身体に抱え、不安にさいなまれる入院患者様にとっても、慣れない病院の天井を眺めながら孤独に病気と闘うよりも、ご家族の顔を見て話せた方が心強いとお感じになるのも、これまた当然のことだと思います。

iPad自動面会がメディアに取り上げられました

熊本日日新聞 https://kakuyuukai.or.jp/archives/27963
flick!（フリック） https://funq.jp/flick/article/762739/
熊本日日新聞（WEB） https://kumanichi.com/articles/533132
KKT

iPadの設定を工夫することで、患者様ご本人が何も操作することなく、家族や友人といつでも顔を見て話せるようなった、緩和ケア患者様のご家族と当院の取り組みが書かれた内容となっていますので、ぜひご覧ください。



くらし

コロナ禍の病棟

タブレット「いつでも会える」

最期の面会 終末期の患者 生きる力に

開放型病床登録医のご紹介 Vol.12

清藤クリニック



―クリニックの特長を教えてください。

患者様が、自分らしく、豊かに、最期まで生きることができるお手伝いをするために、2012年の開業以来「地域のかかりつけ医」として診療を行っています。訪問診療においては、訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所などと、ICTを用いて情報共有を行い、多職種連携に力をいれています。

―“社会的処方”※をキーワードにした取り組みをされていますね。

クリニックが、病気や健康相談だけではなく、気軽にお喋りをしたり、つながれたり、生きがいを感じることができる「地域の拠り所」になればと考えています。待合室を「カフェ」として開放し、イベントを開催したり、本の貸し出し（まちライブラリー）も行っています。

―最後に一言お願いします。

患者様それぞれの「物語」を大切に関わらせていただくことで、地域の方々から「あなたに傍にいてほしい」と選ばれる存在になれたらと思っています。

※薬の処方など医師の医学的処方に加えて、患者等の健康wellbeingの向上などを目的に、地域の活動やサービス等につなげること。

清藤 千景 院長プロフィール

学歴
熊本県立第一高校、福岡大学医学部卒業

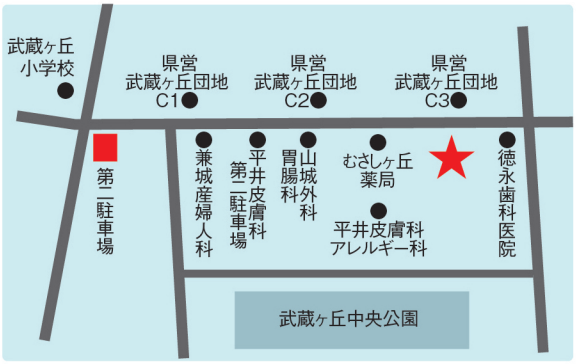
職歴
熊本再春医療センター、武蔵ヶ丘病院、熊本労災病院、球磨郡公立多良木病院など

専門医等
日本呼吸器学会専門医、認知症サポート医、エンド・オブ・ライフケア援助士、防災士

在宅支援研究会「てとてとココロ」
facebook.com/tetotetokokoro/

診療科目
内科、呼吸器内科、緩和ケア内科、小児科、精神科

診療時間
外来診療
9:00～12:30（休診日/木・日）
訪問診療
14:00～18:00（休診日/なし）
※在宅療養支援診療所
（機能強化型）



〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘4-10-14
TEL.096-223-5373　FAX.096-223-5345
https://www.kiyofujiclinic.com/
facebook.com/ckiyofuji

開放型病床登録医のご紹介 Vol.13

聖アンナレディスクリニック



―クリニックのコンセプトを教えてください。

「すべての女性のライフステージを光り輝くものに」をコンセプトに、それぞれのライフステージに応じた多様な問題を総合的に対応いたします。より高度な医療を目指し、最先端の医療機器・知識を取り入れるとともに、リラックスして治療に臨んでいただける環境づくりにも力を入れています。

―3つの環境づくりがキーワードとお聞きしました。

スタッフによる、まるで家族のように親身な気遣い。落ち着いたインテリアやアロマ・マイナスイオンが演出する、まるでホテルのような癒しの空間。すべて患者様の安心感を最優先に考え、一つひとつ作り上げてきました。高度な医療技術、あたたかな接遇、くつろぎの空間。3つが揃ってはじめて、当院が追求する癒しの医療が実現します。

―最後に一言お願いします。

スタッフ全員が“医療に関するプロフェッショナル・チーム”だからこそできること。患者様の健康を守るパートナーとして、生涯にわたってサポートし続けます。

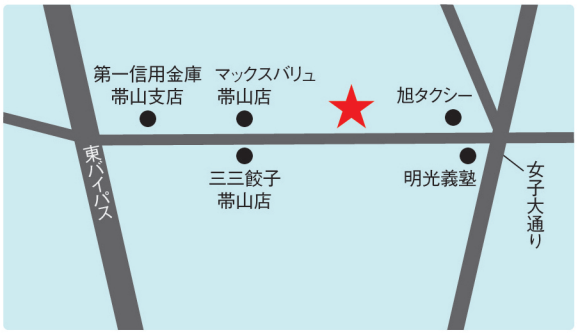
平井 伸幸 院長プロフィール

学歴・職歴
平成4年　久留米大学医学部卒業
　　久留米大学病院産婦人科勤務
平成11年　卵巣がんの研究で医学博士号取得

その他、聖マリア病院新生児センター、
国立病院機構小倉病院産婦人科、
国立病院機構九州医療センター産婦人科医長、
久留米大学産婦人科医局執行部を歴任し、
済生会日田病院婦人科部長、久留米大学産婦人科講師を兼任。
聖アンナレディスクリニック院長就任。
令和3年10月から同クリニック理事長就任。

診療科目
産婦人科・内科、肛門科、専門内科、女性泌尿器科

診療時間
〈平日〉9:00～12:00
　　14:00～19:00
〈土曜〉9:00～12:00
　　14:00～17:00
〈日曜（第2、4週）〉
　　9:00～13:00
《休診》木・祝日



〒862-0924 熊本市中央区帯山4-2-82
TEL.096-381-9670　https://www.st-anna.jp/

熊本県SDGs登録事業者となりました。

熊本県SDGs登録制度は、熊本県内の企業等が、自らの活動とSDGsとの関連性を認識し、SDGsの達成に向けた具体的な取組みを推進することにより、SDGsの普及を促進することを目的とした取り組みです。
（県HP一部抜粋）
鶴友会はSDGsを推進してまいります！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



医療法人社団鶴友会 鶴田病院

参加者募集

がん診療・緩和ケア 地域連携研修会

令和4年3月11日（金）　18:30～19:45

方　法　オンラインWeb会議システムZOOM使用

対象者　医師・看護師・薬剤師・MSW・ケアマネジャー・訪問看護師等の医療・介護従事者

参加費　無料　　**申込〆切**　3月9日（水）　※申込は下記連絡先までご連絡下さい。

内容

Opening remarks「iPad 自動面会についてのご案内」
鶴田病院 院長　鶴田 豊

① 緩和ケア病棟の実績と在宅復帰の現状について
鶴田病院 緩和ケア内科部長　上妻精二

② がん患者の口腔チェックポイント～キュアからケアまで～
鶴田病院 歯科口腔外科部長　中元雅史

③ 在宅総合支援センターから”笑顔”をつなぐために
～チームだからできることを1つ1つ重ねたい～
鶴友会 在宅総合支援センター
在宅診療科部長　岡村茂樹

連絡先　地域連携・相談支援センター　（直通）096-285-6755

鶴田病院 外来診療一覧表

受付時間 8:40～12:30、13:50～17:30　　**診療時間** 9:00～13:00、14:00～18:00

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土（午前中のみ）
内　科	午　前	鶴田克家 續　泰史	續　泰史 門野義弘	鶴田克家 非常勤医	門野義弘 非常勤医	鶴田克家 續　泰史	鶴田克家 2・4週 續　泰史 1・3週 非常勤医
	午　後	鶴田克家 續　泰史	續　泰史		續　泰史		
外　科 ［鼠径ヘルニア外来 CVポート外来］	午　前	村野武志	山口祐二	鶴田　豊	村野武志	山口祐二	鶴田　豊 1・3週 山口祐二 2・4週
	午　後					担当医	
整形外科	午　後			非常勤医			
緩和ケア外来	午　前	再診（完全予約制）					
	午　後	新患（完全予約制）					
歯科口腔外科	終　日	中元雅史					
在宅診療科	終　日	岡村茂樹（完全予約制）					
腹水外来	終　日	完全予約制					

※予約制です。急患は必要に応じて対応いたします。※土曜日は午前中のみの診療です。
※手術・病棟診療・週などによる変更が発生する場合があります。

2022年
2月1日現在